

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 3 9 回 相模原市地域保健医療審議会				
事務局 (担当課)		健康福祉局 保健衛生部 地域保健課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 4 1 (直通)				
開催日時		令和 5 年 5 月 2 2 日 (月) 1 9 時 3 5 分 ~ 2 1 時				
開催場所		W E B 会議及び対面会議 総合保健医療センター A 館 3 階 集団指導室				
出席者	委員	1 4 人 (別紙のとおり)				
	その他					
	事務局	1 4 人 (健康福祉局長、保健衛生部長、医療政策・感染症対策担当部長、保健所副所長兼地域保健課長、医療政策課長、健康増進課長、子育て給付課長、精神保健福祉課長他 6 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
議 題		1 あいさつ 2 議題 (1) 小児医療費助成制度の拡充について (諮問) (2) 相模原市保健医療計画 (第 3 次) の策定について 3 報告事項 (1) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 1 9 条の 8 の規定に基づく病院等について (2) 令和 4 年度病床整備に関する事前協議の決定について 4 その他				

議 事 の 要 旨

原田会長、健康福祉局長、保健衛生部長、医療政策・感染対策担当部長のあいさつ
の後、議題について審議した。主な内容は次のとおり。

議題 1：小児医療費助成制度の拡充について

【諮問】

子育て給付課長から湯田副会長へ諮問書を手交。

【事務局説明】

資料 1 - 2、1 - 3、1 - 4 のとおり説明。

【主な意見】

(佐藤克哉委員)

制度拡充により、現在の対象者が 7 万人から 9 万人になるとのことであるが、対象者何万人のうちの 9 万人か。また、一部負担金 5 0 0 円徴収することであるが、管理は、どのようにするのか。

(事務局)

小児医療費助成については、中学生は、対象者 9 0 % をカバーできると考えている。残りの 1 0 % については、その他の医療費助成の対象となるので、中学生までは何かしらの医療費助成を受けられる。高校生については、8 0 ~ 8 5 % が対象と考えている。

一部負担金の管理については、現在の医療証と同様、5 0 0 円と無料の判断は、医療証に示されるので、医療機関が判断し必要な手続きをしていただく。

(佐藤克哉委員)

現在は、(マイナ保険証は) 保険情報をオンラインで直接、取り込めるため、小児医療証のデジタル化も取り組んでいただきたい。

(事務局)

D X 化については視野に入れながら検討していく予定である。

(佐藤克哉委員)

共稼ぎ世帯の世帯年収を考えると、もう少し拡充してもよいのではないか。

(事務局)

所得制限については、新児童手当の基準を用いる。世帯の中で所得収入の高い方で判断していく。

(鈴木委員)

制度としては良いと思うが、少子化の中で、今後金額や人数は増えていく方向で考

えているのか。相模原市も人口が減っていくことをふまえ方針を伺いたい。将来に向かってどのように考えていくのか。

(事務局)

実績をみながらでないといけないが、国全体としては少子化の傾向は事実としてある中で、本市の少子化対策の一つとして本政策によって本市に人口を呼び込む、あるいは流出を防ぐ意味はある。

(土屋委員)

対象年齢が、年齢でなく高校生にしているのは意味があるのか。

(事務局)

わかりやすさで表現している。正式には、高校生等となる。

(土屋委員)

中卒の人など、差別がないようアナウンスする必要がある。定時制高校生はどう考えるのか。

(事務局)

18歳で区切らせていただきたいと考えている。近隣都市と地域間格差が生じないことも趣旨としてあることから、例えば40歳の定時制高校生は対象としない予定である。

(原田委員)

東京都など完全無償化になる自治体があると聞いている。相模原市は、健康づくり推進条例がこの4月1日に施行されており、15条には子どもの健やかな成育支援を講ずるとあるので、高校生までの医療費無料化等、先行していてもよいのかとも思う。予算もふまえた上で、他自治体に遅れないかたちでいってほしい。高校生を無償化とすると、財政的に厳しいのか。

(事務局)

市の負担は増える。市の中でも何度もシミュレーションを行い検討を重ねた上での判断であった。

(原田委員)

対象者について、町田市や松戸市では「高校生相当年齢の方」という表現をしている。定時制高校や学校に行っていない子もいるので、対象者について、どのような表現がより多くの人に受け入れられるのか考えてほしい。

(事務局)

わかりやすい表現と思い高校生という表記にしたが、厳密には条例や規則で定義していく予定である。

(原田会長)

言葉の使い方は非常に難しいということで、市役所には再検討していただければと思う。

(佐藤聡一郎委員)

他の市町村と横並び(近隣都市と地域間格差がないようにしたい)の制度にするということだが、財源はどのようになっているのか。内部努力でやるとすると市民サービスが下がるということもあるのではないか。

(事務局)

財源については、神奈川県が補助金の対象を広げたことで、4億円のうち1億4千万円程度が県の補助金として見込めている。そのほかの財源についてもある程度の目途をつけた中での今回の制度内容となっているが、制度拡充は当課だけで判断できる内容でなく、市長含め財政や政策部門の当局も加わった中で判断しており、本制度への取組を含め、様々な事業への影響などについても今後市議会で議論される可能性はあると思う。

【答申について】

(原田会長)

多くの意見をいただいたので、意見を踏まえた答申案を後日作成したい。

答申案の作成については、会長一任とさせていただきたいが、これにご異議ないか。

《全会一致で異議なし》

(原田会長)

本件についてはそのように進めることとする。

議題2：相模原市保健医療計画(第3次)の策定について

【事務局説明】

資料2のとおり説明。

【主な意見】

(佐藤克哉委員)

現保健医療計画では、数値目標の評価結果を出しているが、第3次保健医療計画でもこのような評価をしていくのか。

(事務局)

目標値を設定し、成果の設定度合も評価して判断していく。

(大嶺委員)

推進部会で、資料2-3評価結果(2)8番がCであったことについて、お口の健康診査の内容に問題があったと聞いたが、その回答はあるか。

(事務局)

平成29年から30年にかけて、お口の健康診査の健診に使うチェック項目の変更

があった。以前は、ひとつの項目で聞いていた歯茎の出血の有無、歯周ポケットの深さなどが、それぞれの項目で細かくチェックする問診票に変更になった。基準年と比べると悪くなっているが、他市も同様である。本市は他市に比べ中位にあり、本市だけの傾向ではない。

(原口委員)

基本方針 - - 1「健やかな妊娠及び」ということが新規にあげられているが、相模原市には妊婦歯科検診のシステムがない。妊娠期の妊婦歯科検診や口腔検査があるとより健康につながるのではないかと思った。

(事務局)

庁内の検討会議等で検討し、計画に反映できるものは入れていきたい。

(原田委員)

全体を見た時に、相当専門用語が入っている印象がある。市の保健医療計画なので、市民のわかる言葉にしていきたい。今回のものでは、「ラインケア」「ゲートキーパー」など、カタカナ語が多い。その言葉の用語説明がつくのかと思うが、カタカナではなく日本語にすることもできるのではないか。専門用語を使っていくと書きやすくある領域の人にはわかるものかもしれないが、一般市民には理解しにくい。

(事務局)

今後、用語の説明を巻末に掲載したり、市民用のパンフレットについては、わかりやすい平易な言葉にしていく。

(大嶺委員)

相模原市地域保健医療審議会の新たな運営体制について、新しい歯科保健部会ができるとのことだが、今の審議会と同等の情報収集や進行管理ができ、学識経験者なども入れて、現行の審議会と差がでないようにしていきたい。

(事務局)

専門性の高い議論を担保しながら、審議会の運営は考えていきたい。審議会の中で情報共有がはかれるよう専門的な事項を調査する場合は部会を開催するが、議論の中心は保健医療審議会と考えているので、それぞれの内容を審議できるよう、担保していきたいと考えている。

報告事項 1：精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 19 条の 8 の指定病院等について

【事務局説明】

資料 3 のとおり説明。

【意見】

なし。

報告事項 2 : 令和 4 年度病床整備に関する事前協議の決定について

【事務局説明】

資料 4 のとおり説明。

【意見】

なし。

その他

(事務局)

次回の審議会日程は、計画については庁内の検討を重ね、審議会計画部会を 7 月中旬、審議会を 8 月上旬に予定をしている。

以 上

相模原市地域保健医療審議会 委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	原田 工	(一社)相模原市医師会 副会長	会 長	出席
2	佐藤 聡一郎	(一社)相模原市医師会 副会長		出席
3	梅澤 慎一	(一社)相模原市医師会 理事		欠席
4	土屋 敦	(公社)相模原市病院協会 会長		出席
5	大嶺 秀樹	(公社)相模原市歯科医師会 専務理事		出席
6	佐藤 克哉	(公社)相模原市薬剤師会 副会長		出席
7	阿部 徳子	(公社)神奈川県看護協会 相模原支部長		出席
8	黒子 信雄	相模原市自治会連合会 理事		欠席
9	小林 輝明	(福)相模原市社会福祉協議会 常務理事		出席
10	幸山 隆	相模原地域連合 事務局長		欠席
11	伊藤 吉美	相模原市健康づくり普及員連絡会 副会長		出席
12	木下 淳一	(一社)相模原市獣医師会		出席
13	小山 日出野	(特非)男女共同参画さがみはら 理事		出席
14	鈴木 貴市	相模原環境衛生協会 会長		出席
15	助川 秀一郎	相模原食品衛生協会 会長		欠席
16	湯田 里子	相模原市食生活改善推進団体わかな会 会長	副会長	出席
17	原口 あゆみ	(特非)神奈川県歯科衛生士会相模原支部 支部長		出席
18	木津 芳枝	公募委員		欠席
19	原田 康子	公募委員		出席
20	本郷 永子	公募委員		欠席